

こんにちは  
日本共産党

市会議員

西野さち子です



くらしの目線で市政を変える

## 地方都市の調査に参加 京都市の課題が見えてきた!!

日本共産党市会議員団は8月1日～3日にかけて、3班に分かれて他都市調査をしました。西野さち子市議は広島市、防府市、北九州市、福岡市、直方市を訪問し、調査をしました。市民のいのちを守るために何ができるのか、説明していただいた各市の担当者の意気込みを感じました。

### 広島市 くらしサポートセンター

生活保護には至らなくても、経済的に困っておられる方に寄り添って生活を再建しようと3年前に立ち上げられた事業です。マンツーマン型の学習支援事業、保証人の相談やハローワークと連携するなど、一人一人に寄り添った細かな支援が行われています。相談が増え職員が不足してきたとのこと。



### 防府市 (山口県) バイオガス化施設

このバイオガス施設は、ごみの分別をしなくても、前処理施設で選別して、バイオガス化に適さないものは除去するシステムでは全国初で、横大路のクリーンセンターに計画されているものと同じ型の施設です。今のところトラブルはないそうですが、他の同じ方式の施設ではトラブル続きです。京都市のかん・びん・ペットの混合収集について「それはやめた方がいい。うちはビンだけでも色や透明で分別しています。」と言われたのが印象的でした。

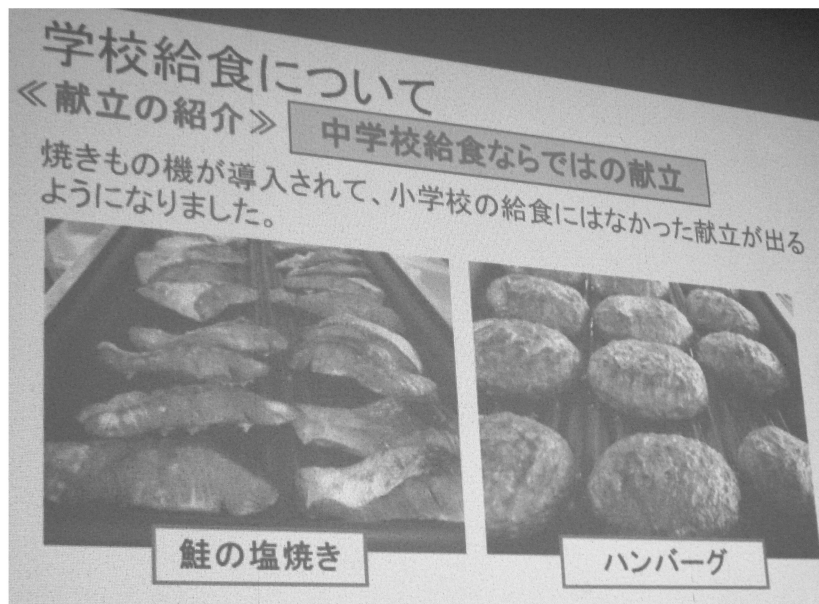


### 北九州市 いのちをつなぐネットワーク

H17年～19年にかけて孤立死が相次ぎ、市民アンケートの結果、市民の約7割が市に対し不信感

を示し、窓口対応は批判意見が過半数を占めました。そのことから、孤立死対策や地域福祉の取り組みを充実させるために生活困窮者支援を先取りしようと始められました。京都市は大いに参考にすべきです。

### 北九州市 中学校給食



北九州市では、小学校の児童数が減ってきた為、給食調理室のスペースに空きができてきました。以前は牛乳のみを配る牛乳給食だったそうですが、小学校の給食調理室を活用して、中学校の給食を作り、温かいまま配送する親子方式を取り入れておられます。また、小学校の献立に+1品して栄養の確保をされていたり、新たな調理器具を入れて、こどもの好きなメニューを増やしておられます。献立やレシピを公表することで、給食の話題で親子の会話が増えたそうです。

### 直方市 (福岡県) 公契約条例



「実施してよかった。しかし、本来は国がすべきこと」と担当者。共産党がこれまで提案してきた公契約条例の賃金条項の必要性や住宅リフォーム助成制度が経済の活性化に役立っていることも説明がありました。